

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・基準となる配置数は満たしているが、実際の支援現場では人手を少なく感じる場合がある。利用者のニーズに沿った対応していきたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・トイレ、階段のバリアフリー設備が整っていない箇所はあるが、補助便座の用意や手すり・滑り止めを設置をしている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・終礼時の反省会や職員会議で周知している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者向け評価表にて事業所の評価を実施していると同時に、日々の連絡ノートからも保護者の意向、ニーズを傾聴している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・毎年、集計結果をHPへと掲載をしている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者評価は現在行っていないが、国や各自治体から調査等を受け、指摘があった場合には都度改善を行っている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・職員会議に合わせ社内研修を行ったり、外部研修に参加したりして、研修内容を全職員へと周知している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・保護者からの聞き取りや利用児の様子をまとめた、施設独自の様式がある。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・過去には職員間で情報が共有できないことがあったが、事前の活動計画や提案の相談をしながら行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・体育館やデイルームでの活動、季節に合わせて屋外活動も取り入れている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・基本的には集団活動がメインだが、その中で個別支援と集団支援の目標を立て、支援を行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援内容は前日までには計画し、当日全職員が確認できる状態になっているが、子どもの気分や体調の変化にもより支援内容の変更になることが多い。変更時の連絡や確認の伝達漏れがないよう、改めて報・連・相の徹底をする。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・ノートを活用し、いつでも振り返りができるようにしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・業務日誌に記録している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・年2回以上必ず行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・会議開催時には児童発達管理責任者や担当職員が参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・定期的に連絡を取り合い、子どもの利用について話している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・現在医ケア児の利用がない為、該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・必要に応じて担当職員が個別会議を開催したり、送迎時の送り送り事項や電話連絡での確認を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			・游村やピアノ教室等。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・担当職員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡ノートの活用。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・随時相談等を受付し、助言や家庭と連携した支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約や面談時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在執り行っていない。必要であれば検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・第三者委員会の設置をしている。

非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・会報誌HopStepJumpを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・サムライロックオーケストラやバク転教室などを開催。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・社内研修や外部研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・アセスメントやモニタリング時に説明を行い、個別支援計画書にも記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ノートや報告書を用いて全職員に周知、確認している。